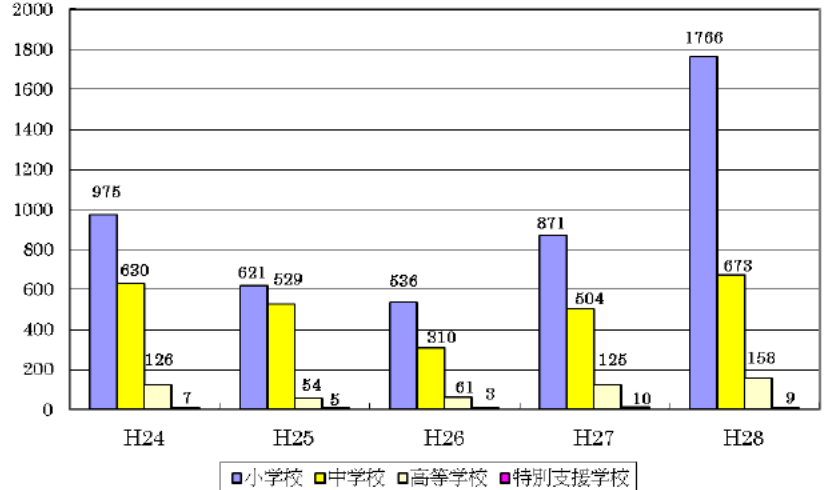


# 平成28年度 公立小中学校及び県立高等学校・特別支援学校におけるいじめの状況等

## 1 概要 (図1、表1参照)

- 平成28年度の公立小中学校及び県立高等学校・特別支援学校におけるいじめの認知件数は2,606件で、平成27年度と比較すると1,096件増加。
- 校種別の認知件数は、小学校1,766件、中学校673件、高等学校158件、特別支援学校9件で、平成27年度と比較すると、小学校・中学校・高等学校で増加し、特別支援学校は1件減。
- 1,000人あたりのいじめ認知件数は13.9件で、平成27年度と比較すると5.9件増加。

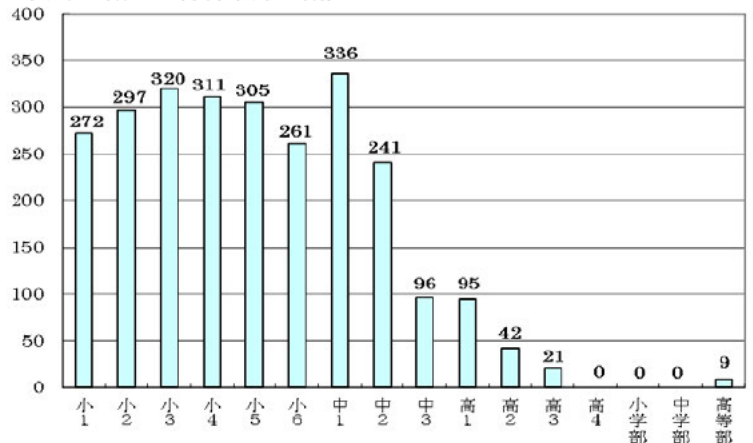
(図1) いじめ推移



## 2 学年別認知件数 (図2参照)

- 学年別では、中学1年生が336件で最も多く、次いで小学3年生320件、小学4年生311件、小学5年生が305件の順。

(図2) 平成28年度学年別認知件数



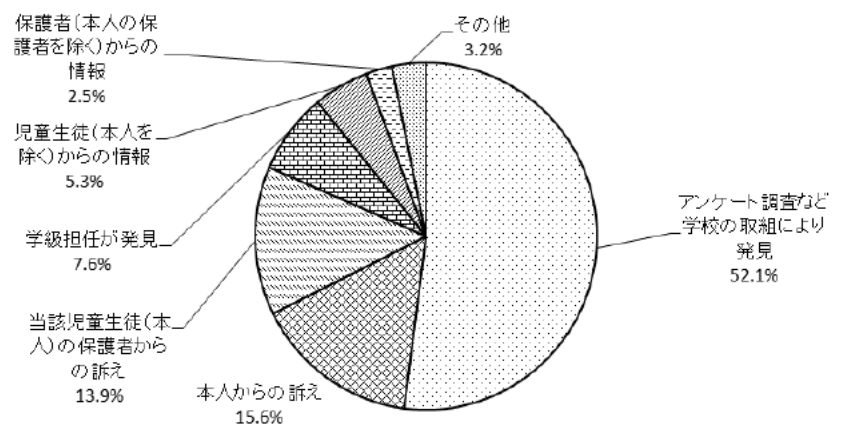
## 3 いじめの解消状況 (表2参照)

- 全体で、2,382件(91.4%)が解消。
- 校種別では、小学校1,600件(90.6%)、中学校624件(92.7%)、高等学校149件(94.3%)、特別支援学校9件(100%)が解消。

## 4 いじめ発見のきっかけ (図3参照)

- 公立小中学校及び特別支援学校では、最も多い発見のきっかけは、「アンケート調査など学校の取組により発見した」(小学校1,044件、中学校265件、特別支援学校4件)。
- 県立高等学校で最も多い発見のきっかけは、「本人からの訴え」(52件)。

(図3) いじめ発見のきっかけ (全校種)



## 5 いじめの態様 (複数回答: 表3参照)

- 全校種ともに「冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。」が最も多く、全体の62.9%を占めている状況。
- 「パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷や嫌なことをされる。」の認知件数に占める割合は3.8%で、平成27年度(6.2%)と比較すると減少。

## 6 いじめの日常的な実態把握のために、学校が直接児童生徒に対し行った具体的な方法について (表4参照)

- 公立小中学校及び県立高等学校・特別支援学校の全ての学校において、アンケート調査を実施。